

# わくや

12月会議号  
2018.2.1  
No.192

## 「上手にできたよ」

2年間このメンバーで頑張ります…〈委員会構成〉	2
町民の声を町政に届けます……………〈議会懇談会〉	4
こんなことが議論されました……………〈12月会議〉	8
町政を問う5人の提言……………〈一般質問〉	10
かがやく町民紹介……………〈キラキラVoice〉	20

# まりました。

## 委員会とは

議会は、町の課題や問題などについて、議員全員で審議や調査を行い、解決への手立てを探ることを基本としています。

しかし、行政の範囲は広く、多くの項目にわたるため、いくつかの委員会を設置して、分担しながら調査を行います。

なお、委員会の任期は2年間です。

## 議会運営委員会

議会を円滑に、効率的に運営するために、議会の運営に関する事項や議長の諮問に関する事項を調査したり、請願などの審査を行います。

委員長	大泉 治	副委員長	久 勉
委員	門田 善則	委員	杉浦 謙一
委員	大友 啓一		

## 広報広聴常任委員会

委員長	大友 啓一	副委員長	只野 順
-----	-------	------	------

### 広聴分科会

議会懇談会などの広聴活動を行う分科会です。

分科会長	大友 啓一
副分科会長	杉浦 謙一
委員	大泉 治
委員	門田 善則
委員	久 勉
委員	後藤 洋一

### 広報分科会

「議会だよりわくや」の編集を行う分科会です。

分科会長	只野 順
副分科会長	竹中 弘光
委員	鈴木 英雅
委員	稲葉 定
委員	佐々木みさ子
委員	佐々木敏雄

### 表紙の写真

さくらんぼこども園で11月に行われた発表会から、4歳児クラス「ピノキオ」の1コマです。かわいいねこさんときつねさんですね。



行政区：大谷地区 期数：6期

平成30年

新年のごあいさつを申し上げます

委員会構成

涌谷町議会議長

遠藤 积雄

新年、おめでとうございます。

町民の皆様と共に、穏やかな新春を迎えることができましたこと、心からお慶び申し上げます。本年は戊年でございますが、犬は出産が容易な動物とされていることから安産祈願のよりどころ

にされております。このようなことから今年はいくつかの新生児の誕生が期待されております。涌谷町においても今年はいくつかの新生児が誕生することを期待し、願っております。

工業振興政策などを示し、具体的に動き出しております。議会といたしましては、町の動きを適切に捉え、町民の皆様の立場から議論を重ねて、町の事業が町民の皆様の幸せに結びついていくかを正しく評価してゆくなど、議会としての使命を果たしてゆきたい、と思いを新たにしているところでござ

います。結びに、町民の皆様にとりましてこの一年が、素晴らしい年になりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# 新しい委員会構成が決

涌谷町議会では、各常任委員会の委員の任期を2年とし、2年ごとに委員会の構成を変更しています。12月会議では、新しい委員の選任が行われました。

平成30年～31年の委員会メンバーをお知らせします。(議会運営委員会、広聴分科会、広報分科会のメンバーについては、今回の変更はありませんでした。)

委員会構成

## 総務産業建設常任委員会

所管課 ・総務課 ・企画財政課 ・税務課  
・まちづくり推進課 ・企業立地推進室 ・会計課  
・農林振興課 ・建設課 ・農業委員会 など



委員長 門田 善則  
行政区：小里区 期数：4期



副委員長 後藤 洋一  
行政区：10区 期数：2期



委員 鈴木 英雅  
行政区：長根区 期数：4期



委員 大泉 治  
行政区：2の2区 期数：5期



委員 稲葉 定  
行政区：猪岡区 期数：1期



委員 佐々木 敏雄  
行政区：日向区 期数：1期

## 教育厚生常任委員会

所管課 ・教育総務課 ・生涯学習課 ・町民生活課  
・上下水道課 ・健康課 ・福祉課  
・総務管理課 など



委員長 久 勉  
行政区：6区 期数：3期



副委員長 杉浦 謙一  
行政区：2の2区 期数：3期



委員 只野 順  
行政区：上谷地区 期数：2期



委員 大友 啓一  
行政区：小里区 期数：2期



委員 佐々木 みさ子  
行政区：上町区 期数：1期



委員 竹中 弘光  
行政区：9の3区 期数：1期

# ～まちの動きをみなさんへ みなさんの声を町政へ～

11月5日（日）、町内6地区の会場で議会懇談会を開催しました。

日曜日にもかかわらず、多くの皆様にご参加いただき、活発な意見交換をすることができました。ご参加いただきました皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

## 意見交換テーマ

# 「今後の涌谷町～どんな町にしたいですか？～」 ～夢を語ろう～

議会懇談会

**西地区** 午前：桜町公会堂  
午後：やすらぎ荘

門田 善則 議員 後藤 洋一 議員  
稲葉 定 議員 竹中 弘光 議員

**東地区** 午前：滝の沢生活センター  
午後：上町公会堂

鈴木 英雅 議員 杉浦 謙一 議員  
只野 順 議員 佐々木みさ子 議員

**箕岳地区** 午前：長根会館  
午後：短台集落センター

大泉 治 議員 久 勉 議員  
大友 啓一 議員 佐々木敏雄 議員



桜町公会堂



やすらぎ荘



滝の沢生活センター



上町公会堂



長根会館



短台集落センター

# 議会懇談会報告

主な質問・意見などをお知らせします。議会懇談会での回答に加え、町の考えを確認して掲載しているものもありますので、ご了承ください。

(回答欄内の「担当課」表示は町としての回答を、「議会」表示は議会としての回答を表しています。)

## 1：住環境・道路整備

議会懇談会

質問・要望・意見	回答
台風の時黄金地区の用水路が溢れそうになった。以前も同様のことがあったが、改善策はないのか。土砂をとってくれる部署と相談窓口を一本化にすべきでは。	担当課：堆積土砂については改良区などの関係機関と協議しながら随時対応してまいります。
上谷地区の、生活雑排水の処理は町でやるべきである。とどまっけて不衛生である。雑排水の処理に予算をつけるべきでは。	担当課：生活雑排水の処理に関しては、浄化槽補助金制度を利用され各戸において環境改善にご協力ください。道路側溝の排水不良に関しては、状況を確認し随時対応できるよう努めてまいります。
町道で傷んでいるところが多いので、早急に修繕してほしい。	担当課：状況を確認し随時対応できるよう努めてまいります。
淡島住宅の建物が相当傷んでいるが対策はないのか。	担当課：*政策空き家の位置づけから、大規模改修の予定はなく、小破修理などで対応している状況です。
農業集落排水事業は、加入率が低いと聞くが、加入率は。	担当課：現在の接続率は、箕岳中央 62%、上郡 35.4%、花勝山 27.6%、生栄巻 50% の状況であり、今後とも接続について町民の皆様のご理解を得られるよう、普及促進に努めてまいります。
下水道事業の進捗状況は。	担当課：下水道整備の新たな区域拡大は当面行いませんが、区域内での未普及解消は引き続き行ってまいります。区域外の住宅を対象に合併処理浄化槽設置に対する補助金制度がございますので、制度の周知と利用促進を図ってまいります。
排水路の整備が急務ではないか。今後の対策は。	担当課：今後とも計画的に幹線排水路の整備を行ってまいります。

### 町の雨水排水計画

町では平成 24 年度に公共下水道事業で雨水排水計画を策定しています。この計画は、江合川両岸の市街地における浸水被害の軽減を図るための整備方針を、平成 40 年を目標として計画しているものです。これに基づき平成 26 年度から、江合川左岸地区においては雨水調整池、排水ポンプ場などの整備、また江合川右岸地区に

おいてもアルプス電気涌谷工場前の排水路整備を進めています。

しかし、当初の想定どおりに国からの助成などは来ておらず、今後、事業が延伸されていくことが予想されており、時機を見ながら、もう一度事業の見直し、計画の見直しを行い、実際に町でできる計画を立てる予定としています。



台風 21 号の雨により、冠水した町内の様子

\*政策空き家…老朽化した公営住宅の建て替えや取り壊しのため、新たな入居募集を停止した結果生じた空き家。

## 5ページに続き まちづくり、病院・医療、教育、防犯・防災、黄金山工業団地、その他

### 2：まちづくり

質問・要望・意見	回答
ラボの話の聞かなくなったが、単発で終わったのか（PR不足だったのでは）。	議会：一部成果として残っています。 担当課：「地域商社ディゴルド」が活動を引き継いで事業展開を図っています。
路線バスの小型化と、玄関から玄関までの交通手段にしては。	担当課：当面は既存路線バスの運行改善に努め、利便性の向上を図ってまいります。
はと麦茶を70数円で販売しているが、今後もこの価格で販売していくのか。販売の方法を考えては。	担当課：町内を中心に1本当たり150円で販売しましたが、賞味期限が11月下旬となっていたことから、在庫処分のため割引価格で販売しました。 今後は、販路の拡大を含め販売方法などを再考してまいりたいと思っております。
公民館脇のパークゴルフ場の管理は利用者が行っている。安全のために周囲にネットを張りたいが補助金はないのか。前に断られた経緯があるが。	担当課：材料費などの金額がどの程度かかるのか確認し、利用者・協会の方と協議を行い検討してまいります。
図書室はいつ利用できるのか、何年も待っているが。	担当課：平成30年4月中に、図書室としてオープンできるように進めております。
籠岳公民館の活性化を図れ。	担当課：今後指定管理も含め、検討してまいります。
町民運動会は、地域によっては参加できず応援するだけとなっている。今後どうするのか。	担当課：実行委員会の反省会で参加しやすいように参加制約を変更したり、大勢が一緒に出られるような種目にしていき、来年度も継続することになりました。
空き家、空き地の対策は。	担当課：18件の空き家・空き地の物件登録があります。今後も管理不全空き家の解消を中心に、関係課と連携し取り組んでまいります。

### 3：病院・医療

質問・要望・意見	回答
国民健康保険税が平成30年から県一本化になるが、負担が上がるのでは。	担当課：保険税については、当分の間、市町村毎に算定することになります。また、現時点で当町の保険税が据え置かれるかは未確定です。
70歳になると健康診断の中に前立腺がんの項目がなくなるのはどうしてか。	担当課：50歳～69歳までを対象に、町が独自で検査費用を助成しているがん検診です。
病院の決算は赤字で、累積赤字額は10億円を超えているが大丈夫なのか。	議会：累積赤字には、毎年分の*減価償却費が含まれており、運営上は心配はありません。
町立病院を大崎市民病院のサテライトとして位置づけられないか。	担当課：大崎市民病院や石巻赤十字病院などと話し合いを行い病院の役割分担を進めています。手術などが必要な急性期の患者は大きな病院にまかせ、手術が終わり治療方針が決まった患者を引き受け、リハビリを行い在宅に帰すという方向に向かっております。

### 4：教育

質問・要望・意見	回答
スクールバス路線の変更はできないか。	議会：教育委員会では、要望があれば希望に応えたいと考えているようなので、相談していただきたいと思っております。
小中学校の学力はどの程度か。	議会：県平均以下です。教育委員会では学力向上のため対策を行っていますが、議会として効果の検証を求めてまいります。
幼稚園のお弁当がスタートすれば、保育料は高くなるのか。	担当課：「幼稚園保育料」・「預かり保育料」・「給食費」は子どもの数や世帯の状況や課税状況に応じて軽減されます。保育所と同等のサービスに拡充し、料金は低くなります。

\*減価償却費…高額で、長期にわたって利用できるものについて、数年にわたって少しずつ計上する費用のこと。

# 議会懇談会報告

## 5：防犯・防災

質問・要望・意見	回答
防犯灯の設置は緊急を要する所から優先して、西地区、東地区、箕岳地区平等に。	担当課：町全域を考慮し、設置いたします。
防災無線が何カ所からも聞こえてくるため、ハウリングを起こし何を言っているのか聞き取れない。何度も対応をお願いしているがどうなっているのか。	議会：他の地区でも同様の事例があり、担当課では随時検討しております。 担当課：聞こえづらい場合は、無料のテレホンサービス(0800-800-9949)の利用をお願いいたします。

## 6：黄金山工業団地

質問・要望・意見	回答
誘致した松本産業は工業団地でいつから稼働するのか。会社の職種は。	担当課：平成30年4月着工、9月末竣工、機械の調整期間を設けて本格稼働となる予定です。職種についてはプラスチックの射出成型を行う会社です。
黄金山工業団地について誘致は進んでいるのか。	議会：区画の小さいところは決定しました。(上の)大区画の部分については、町長始め担当室で誘致活動を行っていますが、議会としても町当局と協力し推進してまいります。

## 7：その他

質問・要望・意見	回答
職員の病欠が多いが、メンタルヘルスの対応は行っているのか。	担当課：平成27年度から実施しているストレスチェックにおいて、高ストレスと判定された職員への面接指導や相談を充実させるとともに、メンタルヘルスセミナーなどへの参加を促進し、メンタルヘルス対策に努めてまいります。
マイナンバーカードを取得したが、総務省で定めているサービスが涌谷では使えないということだった。どうなっているのか。	担当課：マイナンバーカードを利用したコンビニ交付については、県内で8市1町が導入しておりますが、導入費用や年間の維持経費と利用率の費用対効果を考え、涌谷町では住民のマイナンバーカードの取得率を上げることを優先事案として取り組んでおります。
汚染牧草、稲わらは焼却するのか。	担当課：大崎圏域において、焼却により処理を行うため、試験焼却の方向で進んでおります。400Bq/kg以下の牧草については農地へのすきこみを行う方向で進んでおります。



残るは大区画への企業誘致

# 12月会議

## 議案審議

12月会議は、12月6日から8日の3日間で開催され、原子力災害時の避難に関する協定の締結や、ろまん館・天平の湯などの指定管理者の指定など議案13件、各会計の補正予算9件、議員発議4件を審議し、原案どおり可決しました。

### 議案審議

#### 議案第67号

原子力災害時における住民の広域避難に関する協定の締結について

(東北電力株式会社女川原子力発電所において原子力災害の発生または発生する恐れがある場合、石巻市民の広域避難を円滑に実施するため、必要な事項を定めるもの。沿岸部の市町を除く県内27市町が石巻市と協定を結ぶ。)

#### 主なポイント

●受入期間  
1ヶ月以内。災害の状況や避難者数に応じて延長できる。

●受入人数  
800人を上限とする。

#### ●避難場所

涌谷公民館とB & G海洋センター。

### 主な質疑

**問** 涌谷町もUPZ圏内に入っている。

原子力災害発生時には、町民も避難する必要があると思うが。

**答** 大谷地、短台地区がUPZ圏内であり、災害発生時には圏外へ避難する必要があります。避難先は天平の湯、研修館、世代館である。

**問** 避難してきた石巻市民は、防災ステーションに一時避難させるとの報道があった。

千間江地内の防災ステーションで受け付けを行い、それから避難所の振り分けを行う。

**答** 千間江地内の防災ステーションで受け付けを行い、それから避難所の振り分けを行う。

石巻市民と涌谷町民が混在しないよう、避難計画の検討を行っていく。

**問** 福島の場合を見ても、飯館村はかなり離れた距離にありましたが大変な被害を受けた。そのことから、町外への避難計画は必要と考えるが。

協定を結んでいる山形県大石田町へ避難することも可能である。災害の影響によっては、涌谷町民全員が町外へ避難する必要も出てくるので、今後検討していかなければならないと考えている。

**答** 協定を結んでいる山形県大石田町へ避難することも可能である。災害の影響によっては、涌谷町民全員が町外へ避難する必要も出てくるので、今後検討していかなければならないと考えている。

#### 議案第72・76号

指定管理者の指定について

(天平ろまん館、天平の湯、研修館、世代館、健康パークの5施設について、平成30年4月1日から5年間の期間の指定管理者を涌谷町地域振興公社に指定するもの。)

### 主な質疑

**問** 指定管理については、町の役割と、地域振興公社の役割を明文化し、すみ分けをしっかりと行ってもらいたいと考えるが。

指定管理者を選定する際の委員会の中で、行政からの注文やこれまでの反省を含めて、すべて公社に伝えていく。

**答** 指定管理者を選定する際の委員会の中で、行政からの注文やこれまでの反省を含めて、すべて公社に伝えていく。

**問** 指定管理者の経営が悪化した場合、町の対応策などは協定の中に明記してあるのか。

町で整備しなければならぬと考えている。今後の健康パークのあり方について、公社と話をし、検討していく。

**答** 指定管理に関する条例の中に、指定を取り消すことができる規定がある。経営が事業計画とあまりにかけ離れたものであれば、当然指定の取り消しとなる。

**問** 町民の期待に応えるためには、しっかりとした職員・人材の育成、研修が必要と考えるが。

人材育成の中でも、職員としてだけではなく、ある程度専門性が必要になる。お湯の管理や、機械の管理、接客といった部分もしっかりと教育し、より良い施設にしていきたい。

**答** 町で整備しなければならぬと考えている。今後の健康パークのあり方について、公社と話をし、検討していく。

**問** 健康パークの今後の活用方法は。

町で整備しなければならぬと考えている。今後の健康パークのあり方について、公社と話をし、検討していく。

**答** 町で整備しなければならぬと考えている。今後の健康パークのあり方について、公社と話をし、検討していく。

町で整備しなければならぬと考えている。今後の健康パークのあり方について、公社と話をし、検討していく。



※ UPZ…原子力施設から概ね半径30km圏内。災害時には、予防的な防護措置を含め、段階的に屋内退避、避難などを行う。

12月会議採決状況 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

議案番号	件名	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	大友啓一	只野順	後藤洋一	久勉	杉浦謙一	門田善則	大泉治	鈴木英雅	遠藤 積雄
議案第72号	指定管理者の指定について(天平ろまん館)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長

**問** 町の職員はいつまで派遣するのか。町が関与しては、公社は組織としていつまでも独立した考えができないのではないか。

**答** 職員の派遣については、以前からの様々な問題が片付くまでと考えている。今年度、公社は一般社団法人となったが、最終的には公益社団法人化したい。

補正予算

平成29年度  
補正予算質疑

歳出	増額	防犯灯木柱撤去委託料	44万円
		住宅取得等補助金	100万円
		優良雌牛保留奨励事業補助金	40万円
		涌谷スタジアム内野土入替料	361万円

住宅取得等補助金（詳細は町 HP 参照）は申請が増加しており、再度増額補正を行う。優良雌牛保留奨励事業補助金の増額は、全共宮城大会において県内牛が多数優秀な成績を収めたことから、雌牛の保留の動きに備えるもの。涌谷スタジアムにおいては、以前から土の飛散が問題になっていることから、冬季閉鎖期間中に内野土の入れ替えを行う。

防犯灯の設置は  
景観に配慮を

**問** 涌谷中学校下の上町の道路に防犯灯が設置されたが、桜回廊地域でもあり、観光や、景観に配慮した設置はできなかったのか。

**答** 防犯灯は防犯灯として設置するものであり、ほかの機能を持たせることは難しいと考える。

住宅取得等補助金  
申請が増加中

**問** 住宅取得等補助金について、今後、更に申請が増えた場合は予算の増額もあるのか。

**答** 移住定住策の一環であり、今後申請が増えれば、予算の増額をお願いしていく。

※全国和牛能力共進会  
次は町内から出品牛

**問** 今回の宮城大会では、登米市の出品牛が好成績を収めた。生産農家の肥育が高い評価を受けたようであるが。

**答** 飼育農家のレベルアップが必要であり、後継者の育成も大きな課題である。地域全体で、知識・技術を共有することが底上げにつながると考える。

図書室は  
見栄え良く整備して

**問** 図書室の整備については、町民の期待が非常に高い。財政が厳しい中での改修は理解するが、目につく部分やトイレなどの改修は、最低限行うべきと考えるが。

**答** 生涯学習課、建設課、業者で相談をしながら進めていく。



昨年9月に開催された全共宮城大会

※全国和牛能力共進会(全共)…全国の優秀な和牛を5年に一度、一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う全国大会。

# ズバリ

12月会議では、12月6日に一般質問が行われ、5人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。  
(URL <http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



一般質問

## 佐々木 敏雄 議員 (11 ページ)

- 1 台風21号での下町地区道路の冠水の検証について問う

## 久 勉 議員 (12 ページ)

- 1 子育て支援策として賃貸住宅入居者へ家賃補助の創設を
- 2 パークゴルフ場の管理・運営を明確に

## 佐々木 みさ子 議員 (13 ページ)

- 1 集落環境の整備について

## 稲葉 定 議員 (14 ページ)

- 1 涌谷町の水害対策を問う

## 杉浦 謙一 議員 (15 ページ)

- 1 防災行政無線難聴地域の対策について
- 2 今後の汚染稲わら等について町の考えは

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

# 町政をただす



佐々木敏雄 議員

一般質問

問 新下町浦雨水調整池 設計の検証を

答 住民の声を聴いて整備を検討する

問 去る10月22～23日の台風21号により、町内各所で冠水被害があった。その中で、新下町浦に雨水調整池を整備したが、調整池に流入する前に道路が冠水した。調整池の機能を果たしていない。設計上の検証をすべきと思うが。

町長 長時間の降雨に加え、この地域は低い土地で十分な勾配がとれない現状であり、雨水が調整池へ到達するまで時間を要したためとみている。

問 今後、対策が必要となる場合には、地域の皆様のご意見を伺いながら整備を検討していく。

問 勾配が緩いのは設計段階で明白である。調整池までの距離も、滞留するほどの距離ではない。調整池への取り口は幅2m、高さ80cmであるが、適当な断面積なのか。

上下水道課長 取り口の広さ、ごみの障害、排水路の清掃なども含め検証する。

問 来年の梅雨時までは改修すべきでは。また、調整池は補助事業で整備しているが、改修には制約はないのか。

上下水道課長 機能してないのであれば、早急に対応を考えなければならぬ。県と十分協議する。

問 設計上の<sup>※</sup>瑕疵責任などにも及ぶ可能性があると思うが。

上下水道課長 設計上明らかに瑕疵があれば業者に責任があるが、現状をしっかりと検証することが必要と考

問 排水路が詰まり冠水した箇所も数カ所あった。

J Aみどりの営農センター前の水路や涌谷高校前の中江川も、堤防のり面が崩れ落ちている。水害対策として、主要排水路の<sup>※</sup>浚渫を計画的かつ、定期的に行うべきと思うが。

町長 水田の維持保全にも関わるので、改良区と連携して計画的に進めていきたい。



のり面が欠け落ちた中江川



新下町浦雨水調整池

※瑕疵…欠点、過失。

※浚渫…海や川の水底の土砂を掘り取ること。



久 勉 議員

一般質問

**問** 幼稚園、保育所、小中学校の保護者で、賃貸住宅に入居している方々へ家賃の補助を行っているかどうか。

**町長** 11月末現在で、賃貸住宅に入居している子育て世帯は195世帯である。今後、どの年齢、どの層に、どのような施策が必要なのか検討していく。

**問** これまで、子ども医療費の拡大、幼稚園入園料の無料化、学級費の負担軽減などの子育て支援策を実施してきました。それらの集大成として、ぜひ実現してもらいたい。

**町長** 単に子育て支援にとどまらず、住宅政策として、他町からの移住につながるなど、公営住宅入居者と民間住宅入居者などの実態を調査し、検討する。

町がパークゴルフ場の管理運営を

利用団体と協議しながら進める

**問** パークゴルフ場の用地は町の財産であるが、管理と運営が明確になっていない。計画的に整備されていないが、現状のままでもいいか。

況の実態は把握しているか。  
**生涯学習課長** テニス、サッカー場、ゴルフ場の利用状況は把握していない。

**教育長** パークゴルフ場は、平成16年頃設置され、パークゴルフ協会が自主的に管理・運営を行うとして平成21年に要望があり、現在の2コース18ホールに整備された。  
今後については、利用団体と協議・調整しながら管理運営を進める。

**問** 他町では条例で設置根拠を明確にしている。施設整備についても、安全面への対策や、元気な高齢者が楽しく遊ぶための環境づくりは町がすべきではないか。  
**町長** 町民の健康の役に立つのであれば、町もしっかりと管理をしていく。

問 賃貸入居子育て世帯へ家賃補助を

答 実態を調査し、今後検討する



利用者が安全に楽しめるよう配慮を

**問** 財産管理上は総合運動場となつていないが、条例、規則の根拠はない。また、利用状



排水困難地域



傷んで交差が不便な道路

**問** 議会懇談会で、大地震の後に傷んだ道路が修繕されていないとの指摘があった。清浄院駐車場までの道も、傷んで交差も不便で危険である。居住している人が少ない地域の補修は後回しとなるのか。

また、地震の後、地盤沈下もあり生活排水が深刻化している地域の、排水の適切な処理についてどう考えているか。

**町長** 戸数が少ない地域に行政サービスが行き届かないことはあってはならない。

現場を見ながらどのような方法がいいのか思案中である。今しばらく検討する時間がほしい。

**建設課長** 道路の傷んでいる箇所については、パトロールを行っており、行政区长や住民の方から連絡をいただいた際には現地を確認し、早急に補修することに努めている。

集落道についても計画的に補修していく。

**上下水道課長** 排水の適切な処理について、個別の案件には合併処理浄化槽で対応している。浄化槽を設置する際には、町から補助金を出している。年間で20件程度の件数を見込んでおり、計画的に整備を進めていく。

また、地震の後、地盤沈下もあり生活排水が深刻化している地域の、排水の適切な処理についてどう考えているか。

**問** 住民生活に直接影響を及ぼすことは、町民に分かりやすい説明がほしい。町民の要望にどの程度答えられるか各課で調整し、情報交換をするなど、整備機能を一本化すべきではないか。

現場を見ながらどのような方法がいいのか思案中である。今しばらく検討する時間がほしい。

**町長** 管理については混在した部分も

あり、区分が難しいところもある。

今後、合理的な維持管理に関しどのような形が良いのか、関係機関・地元住民の皆様のご協力をいただき、維持管理体制の向上を図る。

**問** 生活しやすい環境整備を

**答** 検討を重ねている



佐々木みさ子 議員



稲葉 定 議員

一般質問

**問** 大雨による浸水、冠水被害発生箇所は把握しているのか。

**町長** これまでの被害報告、町内パト

ロールで把握しているが、ゲリラ豪雨のような雨の時は、想定していないところに被害が出る可能性がある。

災害に対する備えとして、今後もハード面での整備を続けていくが、情報伝達や避難行動の確認などソフト面での対策も進めていく。

**問** 西地区の排水路整備計画はどうか。

**上下水道課長** 国からの助成などが滞り、計画どおり進捗していない。現在、アルプス電気涌谷工場前の排水路整備を進めている。

**問** 土石流被害防止のための対策は。

**建設課長** 県の事業として平成23年度から猪岡地区の川畑沢砂防ダムの整備を進め、今年の11月に完成した。

**問** 避難訓練の徹底など、ソフト面の減災対策を充実させては。

**総務課長** 図上訓練も必要であると考えるので、今後検討していく。

**問** 新しく示されるハザードマップをどのように生かすのか。

**総務課長** ハザードマップには避難所や危険区域を載せている。各地域の自主防災組織などで避難所までの経路を確認するなど活用してもらいたい。

**問** 旧小里小、旧籠岳小は避難場所として使えるように手入れをしているか。また、地域に貸し出して施設の保

全をしていたりなど対策があると思うが。

**企画財政課長** 手入れはしていない。地域に貸し出すのは非常に良い考えだと思われる。

**問** 浸水、冠水時に自力で避難できない人もいる。ゴムボートなどを備えておくべきではないか。

**総務課長** 検討するが、現在のところ考えていない。



昨年11月に完成した川畑沢砂防ダム

問 水害への備えは

答 ソフト面での対策も進める

## 問 汚染稲わら処分

### 理解得られたか

## 答 不安の声もあるが

### 予算を提案する

**問** 汚染稲わらなどの本焼却までの計画はどのようになっているのか。

**町長** モニタリングポストの設置、焼却施設の変更などで、11月からの県内一斉の試験焼却開始はできない状況である。年度内の早い段階から、安全性を確認するための試験焼却を6カ月間行い、その後、本焼却に移行する計画である。

**問**

住民説明会では、参加者の理解が得られたとは思えない。今後、住民運動が高揚した場合でも、考えは変わらないのか。

**町長**

住民説明会で安心への不安の声があったのは事実。焼却が安全な方法であることの確認が処理を進める始まりだと考える。処理に関する予算を国・県との調整後、速やかに議会に提案する。

**問**

防災行政無線の難聴地域解消に向けての取り組みは。

**町長**

無線スピーカークの角度調節を行ったり、おおさきFM放送との連携や、テレビ・インターネットを活用した情報発信、テレホンサービスの回線数の増設などを実施している。

**問**

総務省では、戸別受信機の普及促進に向け、標準的な仕様

**町長**

や防災行政無線と簡易無線の接続規格を定めるなどコスト削減を図るとしている。戸別受信機を導入する考えは。

総務省でも普及促進を検討しているようなので、低価格な受信機や整備費用を安くするのではと考える。情報伝達手段が多様化しているので、当町の情勢に合った伝達手段を検討していく。



難聴地域や高齢者には必要なのでは（写真はイメージです。）

**問**

## 難聴地域に戸別受信機を導入せよ

**答**

## 情勢に合った伝達手段を検討する



杉浦謙一 議員

# 企業立地推進に関する調査特別委員会

平成 28 年 6 月第 2 回会議において設置された「企業立地推進に関する調査特別委員会」が、12 月会議で最終報告書を議長に提出しました。特別委員会では担当課への聴き取りや企業誘致に関する県の動向調査を行うとともに、周辺自治体の取り組み、町内企業の現状などを調査しました。

報告書の主な内容をお知らせします。

## 委員会報告

### 調査の目的

住民の生活の安定を図り、活気ある住環境の構築と地域経済の活性化のために、よりよい企業を育成・支援し、誘致することは不可欠であり、その施策として何が必要なのかを考え、町が進めている企業誘致事業に対する支援・検証のあり方を調査する。

### 調査項目

- 1 既存町内企業の現状と支援策の調査
- 2 起業・創業促進策の調査
- 3 企業誘致活動の調査、支援策の調査
- 4 企業立地に関する議会の関わり方

### 調査結果及び提言

**1 既存町内企業の現状と支援策について**  
町内企業 4 社から現状の聴き取り調査を行ったところ、業績は良好であるが従業員の確保が困難な状況であった。

#### 提言

- ① 地元企業への雇用を増やすため、従業員の家賃補助制度などの整備を。
- ② 町が町内企業の状況把握を強め、インフラ整備などの積極的な支援を。

#### 2 起業・創業促進策について

町は各種支援策を設けているが、他自治体にはい特色ある支援策の検討が課題となっていた。

#### 提言

- ① 町独自の創業支援策の整備を。
- ② 創業資金調達の進め方や、起業意欲を醸成するセミナーを開催するなど起業家予備軍の掘り起こしを。

#### 3 企業誘致活動について

企業との信頼関係構築が不可欠であり、企業誘致に携わる専門的な知識を有する職員を育てるなど人材育成が必要。

#### 提言

- ① 人材育成のため、職員への研修派遣を。
- ② 人事異動により企業誘致活動が低迷することのない人事ローテーションを。

③ 企業からの信頼と安心を得るため、許認可行為のワンストップ化対応の窓口の設置と誘致企業への継続的な支援体制の構築を。

#### 4 企業立地に関する議会の関わり方について

議員個々が持つ広いネットワークを生かし、情報を収集し、執行部につなぐ役割を果たしていく。

また、黄金山工業団地へ接続する国道 346 号線の道路拡幅などについて早急な改善が図られるよう、議会として引き続き要望していく。



工業団地の完成はゴールではなくスタート

# 常任委員会活動最終報告

涌谷町議会では、2年ごとの期間で各常任委員会でテーマを定め、町の事業・所管事務を調査しています。今回、平成28年～29年の2年間の調査における最終報告が12月会議で行われました。

報告書の主な内容をお知らせします。

## 総務産業建設常任委員会

### (1) 企業誘致の実現

#### 調査結果及び意見

調査については特別委員会に委ね、常任委員会としては、条件整備のために先進地視察を行うとともに、黄金山工業団地整備の進捗状況を随時確認した。工業団地は本年9月に完成となったが、今後は、一日も早い企業誘致が実現できるよう努力してもらいたい。

### (2) 水害から町民の命を守る

#### 調査結果及び意見

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨水害を受けて、被害の大きかった江合川の一部区間において、国によって特殊堤防の整備が行われた。江合川、旧北上川、出来川及び田尻川においては、流域の市町村で構成する改修促進期成同盟会が、無堤防箇所

### テーマ：「魅力あるまちづくり」

#### —企業誘致と若者の定住化、安心安全のまちづくり—

の築堤促進や未改修箇所の整備促進などについて、国・県に要望を行っている。委員会としても、早期整備の実現に向けて積極的に働きかけていく。

また、内水排水については、以前から町民の要望なども多く、議会懇談会でも改善の声が多く寄せられている。町民の安心安全な生活の確保のためにも、早急に整備を行うよう働きかけていく。

### (3) 県道河南築館線道路拡幅の早期実現

#### 調査結果及び意見

籠岳地区県道河南築館線道路改良を推進する会が立ち上がり、宮城県に要望書が提出されたことから、議会としても町民の要望を踏まえ、本年2月に宮城県知事と県議会に同様の要望書を提出した。

今後も、状況を見守りながら、早期改修の実現に努めていく。

## 教育厚生常任委員会

### (1) 教育委員会部門

#### ① 学力向上について

具体的な取り組みが見えない。

#### ② 図書室の整備について

4月の開設に向けて努力を。

### (2) 健康福祉部門

#### ① 児童・生徒の肥満対策について

全幼稚園の給食の成果に期待。

#### ② 認知症対策について

モデル地区のMRI診断は効果があり、今年度は制度を活用して実施していることから、成果に期待する。

#### ③ 総合支援事業について

涌谷町社会福祉協議会と連携し、早期にサービスを提供することが望まれる。

#### ④ 預かり保育・学童保育について

3歳未満児の待機児童解消を図る施策を早急に望む。

### テーマ：「住み良いまちづくり」

### (3) 公営企業部門

#### ○病院部門

#### ① 病院改革プランの進行管理について

現状分析から、数値目標を掲げ実施しているが、なお一層の努力を望む。

#### ○水道・公共下水道

#### ① 上下水道中長期計画の進行管理について

上下水道とも経営戦略を策定し事業を展開しているが、今後の推移を見守る。

農業集落排水事業の運営については、町全体の課題として抜本的な改革が望まれる。

### (4) 生活環境部門

#### ① 空き家対策について

空き家バンクの制度が創設されたが、一層の周知の徹底を望む。

# 議 員 発 議

3\*意見書を国に提出しました。

※意見書…町の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめた文書で、国会や関係行政庁に提出する。

## 地域住民の生命と生活を守るため、「石巻新庄道路」の早期実現を

地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書  
(賛成全員で可決)

### 意見書要約

「石巻新庄道路」は、宮城県石巻市から大崎市を経て、山形県新庄市に至る地域高規格道路であり、広域的な地域連携の強化を図る重要な役割を担っている。

しかし、高規格幹線道路を軸とした道路網の整備が立ち遅れており、県道や市町道を含めた体系的な道路の早期整備が最重要課題となっていることから、次の事項について強く要望する。

- 1 地域高規格道路「石巻新庄道路」の早期実現を図ること。
- 2 国の公共事業関係費の長期的・安定的な確保、復興関連予算の復興事業完了までの継続的な確保。

提出先 衆議院議長 など

## 「核兵器のない世界」の実現を目指して、積極的な役割を

日本政府へ核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書  
(賛成全員で可決)

### 意見書要約

2017年7月7日、核兵器禁止条約の国連会議で、人類史上初めて核兵器禁止条約が国連加盟の三分の二にあたる122カ国の賛成で採択され、「核兵器のない世界」への歴史的一歩を踏み出した。

速やかに核兵器廃絶を願い、核兵器使用を禁止する条約を結ぶことを、すべての国に求める「ヒバクシャ国際署名」には、多くの自治体の首長が賛同し、署名している。

政府及び国会においては、「核兵器のない世界」の実現を目指して、核兵器禁止条約に一日も早く署名・批准し、核兵器を持つ国々と持たない国々との橋渡し役として積極的な役割を果たすよう強く要望する。

提出先 衆議院議長 など

## すべての要介護者が、安心して生活がおくれる介護福祉施策の充実を

介護福祉施策の充実を求める意見書 (賛成全員で可決)

### 意見書要約

政府及び国会において、下記の施策の実施に必要な措置を講じられるよう強く求める。

- 1 介護従事者の処遇・労働環境の改善を進め、介護事業の健全な運営が成り立つよう基本報酬の底上げを図ること。
- 2 介護保険料の引き上げを抑制するため、介護保険制度における国の負担割合を引き上げること。
- 3 介護サービスの利用料を抑制し、サービスの必要な人が、安心して介護サービスを受けられる制度改定を行うこと。
- 4 国会および政府は、社会保障充実のため、国のあらゆる無駄な歳出を見直し、安定的な財源を確保すること。

提出先 衆議院議長 など

## 議員発議

### 皆さんの請願・陳情

意見書を可決したことにより、\*みなす採択となりました。

#### 平成 29 年陳情第 9 号

「地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書」の提出を求める要望書について

#### 陳情者

石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会  
会長 亀山 紘

#### 平成 29 年陳情第 10 号

ヒバクシャ国際署名への署名と日本政府へ核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出のお願い

#### 陳情者

宮城県原爆被害者の会  
ヒバクシャ国際署名連絡会  
宮城  
代表 炭谷 良夫

#### 平成 29 年陳情第 11 号

介護福祉施策の充実を求める国への意見書提出に関する陳情書

#### 陳情者

特定非営利活動法人  
介護・福祉サービス非営利  
団体ネットワークみやぎ  
理事長 内館 昭子

\*みなす採択 (不採択) …同一会期中において、既に同一趣旨、同一目的の議案または請願などが議決されている場合の請願などについて、その議決の結果により「採択 (不採択)」とみなして処理する取り扱いのこと。

# 先進地に学ぶ

## 視察研修レポート



～よりよい町づくりのために～

涌谷町議会では、各常任委員会または分科会ごとに、調査テーマに即した視察地を選定し、先進地の視察研修を実施しています。

今回は、9月26日～27日に実施した教育厚生常任委員会の視察研修報告のほか、広報分科会や、平成29年度議員研修についてお知らせします。

### 視察報告

江戸川区のすくすくスクールの視察について

#### 東京都江戸川区

介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みについて  
武蔵野市の介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みについて  
在宅ケアシステムを先取りした形で、平成12年に高齢者福祉総合条例を定めてスタートした。  
要支援1・2の方々が、元気に地域で暮らせるように訪問・通所ときめ細かなサービスを展開している。また特筆すべきは、市独自に認定ヘルパー制度を設置し人材確保に努めていることや、永年勤続者への報償など、働く方の意欲向上へのあり方など学ぶものがあつた。

#### 東京都武蔵野市

#### 教育厚生常任委員会

9/26  
9/27



すくすくスクール 茶道教室の様子

クールは、従来の慣習にとらわれない発想で事業を展開していることから、今後の学童保育を考えるにあたり非常に参考になった。特に、教育推進課長の「防犯カメラの設置よりも地域の方々の温かい目を」という言葉に感動した。

#### 11月会議 (11月10日開催)

##### 議案第65号

涌谷町名誉町民 大橋 莊治氏 逝去に対し町葬を行うことについて (賛成全員で可決)

去る11月7日、涌谷町名誉町民であり、元町長の大橋莊治氏が逝去されました。

大橋氏は昭和47年に涌谷町議会議員に初当選され、議員として連続5期19年務められ、その間、常任委員会委員長、副議長、議長を歴任されました。

その後、助役を経て、平成7年から4期16年、町長としてその手腕を発揮され、涌谷町の自治発展と住民福祉の向上に尽力されました。

ご逝去に際し、謹んでお悔やみを申し上げます。

涌谷町議会議員一同

#### 平成29年度涌谷町議会議員研修

質問力、政策立案能力の向上を目指して

昨年度に続き、第2回目となる涌谷町議会議員研修を12月13日に開催した。

今回は「質問・質疑の効果的な活用手法」について、(株)地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬和彦氏から講話をいただいた。

廣瀬氏は、「執行機関にわかりやすいような具体的な質問をし、問題を共有するところから改善は始まる」と話された。

#### 広報広聴常任委員会 広報分科会

#### 議会広報研究会

説明責任を果たし、住民とつなげる議会広報へ

11月7日に宮城県自治会館で議会広報研究会が開催され、広報分科会委員5人が参加した。

議会広報サポーターの芳野政明氏から、「住民に読まれ、議会活動が伝わる議会広報誌編集のポイント」として、編集の際の留意点や、県内各町議会広報誌への具体的なアドバイスがあつた。今後の誌面づくりに生かしていきたい。

議会に皆様のご意見をお寄せください。

# キラキラVoice

vol. 3



伊藤允さん(左)・久美子さん(右)  
(5-1区)

Q あなたのことを教えてください。

A (株)とうファームとして六次産業に取り組み、加工場を建設し、平成29年2月から「にらの唐辛子漬け」の販売を始めました。お客様に笑顔になっていただけるようなものづくりを目指しています。

Q 議会についてどう思いますか。

A 限られた財源の中、厳しい状況にあると思いますが、町民一人ひとりの声を一つでも多く聞き、これからの涌谷町に欠かせないことを改善してほしいと思っています。

Q 涌谷町をどういう町にしたいですか。

A 涌谷町にはまだまだ知られていない魅力があります。四季折々の風景や、歴史、農産物の美味しさなどを町内外の多くの方に知ってもらい、足を運んでもらいたいです。そして涌谷町に生まれ育った子どもたちが、この町に生まれて良かったと心から思えるようにしていきたいです。

議会から

涌谷町をもっとたくさんの方に知ってもらいたいと話す伊藤さんご夫婦。「にらの唐辛子漬け」を始めとした様々な商品にも、涌谷の魅力を伝え、笑顔になってもらいたいとの思いが込められています。子どもたちが、この町に生まれて良かったと心から思えるようにしていきたいとの言葉に、我々議員も更に努力していかねばと、責任の重さを改めて実感しました。  
「にらの唐辛子漬け」はみどりの農協涌谷店やウジエスーパー美里店などで販売しています。詳しくは(株)とうファーム(0229-421-2209)まで。

議会を傍聴

しませんか

3月上旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日配付の「定例会のご案内」でお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。  
☎43-2127

一般質問を

動画配信し

ています。

当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、涌谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。



<http://www.town.wakuya.miyagi.jp/>

編集ろまん

わくや  
だより

あけましておめでとう  
ございます。

早いもので平成30年を迎え、穏やかに新年を祝い、一年がスタートしました。

広報分科会では、昨年の12月会議の詳細をお伝えする、議会だよりわくや第192号の誌面づくりに休日返上で作業を行っております(笑)

年4回の発行で読者の皆様に「読みやすい」、「見やすい」誌面づくりを目指しております。

今後、表紙のカラー化を考えており、さらに読者の皆様に親しまれる議会だよりわくやをお届けします。

(鈴木 英雅)

- 編集 広報広聴常任委員会広報分科会
- 分科会長 只野 順
  - 副分科会長 竹中 弘光
  - 委員 鈴木 英雅
  - 委員 稲葉 定
  - 委員 佐々木 みさ子
  - 委員 佐々木 敏雄